

令和5年度普及活動外部評価委員会

6. 地域特産物における中核的経営者の育成と産地支援

(対象：西部農業事務所富岡地区農業指導センター)

【評価できる点】

- (1) コンニャク産地の強化に向けての現状把握はしっかり行われていることから、支援事項・解決方法、到達目標などが明確でわかりやすい。
- (2) 活動経過・今後の課題、対応について良く整理されており、更なるコンニャク生産拡大に期待したい。

【改善・強化に向けた検討事項（意見・要望と対応策）】

1 課題や目標設定に関すること

◆意見・要望

- (1) 担い手の高齢化や価格低迷などが続いており、担い手対策をすすめて欲しい。

◆意見・要望に対する対応策

- (1) 関係機関と連携して、重点的な栽培指導や経営指導を行うなど組織活動支援を核とした担い手対策を進めます。
また、価格低迷対策は、収入保険の加入促進や経営補完作物の導入を進めます。

2 活動内容に関すること

◆意見・要望

- (1) コンニャクほ場越冬栽培の労働時間と資材費の減少は明らかであるが、導入拡大を図るには流通上の問題があることから、今後も農業者、関係機関と連携し情報共有を行って欲しい。
- (2) 管内生産者の3割が耕作をしている松義台地の営農に関して、引き続き焦点をあてて活動して欲しい。
- (3) 耕作放棄地対策として、コンニャクの補完作物（トウキ、ネギ類、サツマイモなど）やコンニャクに変わる新たな品目の検討をして欲しい。

◆意見・要望に対する対応策

- (1) 農政部内関係部署や全農ぐんま、精粉業者等を交えた話し合いで安定的な流通経路の確保を図ります。
- (2) 次期計画においては、コンニャクだけではなく野菜類等の振興も視野に入れながら松義台地の営農振興について関係機関と連携し取り組みます。
- (3) 松義台地の耕作放棄地対策は重要な課題ですので、ネギ類の導入マニュアルを作成し経営補完作物の導入拡大を図ります。また、コンニャクに替わる新たな土地利用作物としてサツマイモの導入について、販路確保や生産者の掘り起こしを関係者と一丸となって取り組みます。トウキは夏季高温による生育不良となることが判明したので管内への導入は見送ります。